

平成22年度全国学力・学習状況調査分析結果

平成23年2月25日
下野市教育委員会

1 はじめに

下野市教育委員会では、平成22年度の全国学力・学習状況調査の概要について、第一段階として、平成22年9月22日付で速報をお知らせしました。

今年度も第二段階として、下野市全体としての結果を分析し、公表いたします。

各学校やご家庭におかれましては、この分析結果を今後の学習指導の工夫改善や児童・生徒の学習意欲の向上に役立てていただきたいと思います。

2 下野市全体の傾向

(1) 学力調査の結果より

学力調査		下野市	栃木県（公）	全国（公）
調査対象	小学校 12校	657人	※7,871~7,880人	※264,182~264,193人
人数内訳	中学校 4校	562人	※4,643~4,645人	※420,942~421,281人

※国語A・B，算数・数学A・Bは，それぞれ参加人数が異なる。

※栃木県，全国の人数は抽出対象校のみ

※下野市は全小中学校（抽出校6校，希望利用校10校）が参加した。

A問題(主として「知識」に関する問題)

B問題(主として「活用」に関する問題)

《国語A・Bの領域》 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」

※国語は小学校，中学校共通

《算数A・Bの領域》 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

《数学A・Bの領域》 「数と式」「図形」「数量関係」

①全体比較

全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較 【H19～22全体比較】

◎大きく上回っている（5ポイント以上）

○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

－同じ（±1ポイント未満）

▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校	H19	H20	H21	H22	中学校	H19	H20	H21	H22
国語A	○	○	○	○	国語A	◎	○	○	○
国語B	◎	○	○	－	国語B	◎	◎	◎	◎
算数A	○	○	－	○	数学A	◎	◎	◎	◎
算数B	◎	○	－	○	数学B	◎	◎	◎	◎

平成22年度の全国学力・学習状況調査の下野市の全体の結果（国語，算数・数学）は，小学校，中学校ともに，ほとんどの領域で，全国平均正答率を上回る結果となった。

【小学校の全国学力調査全体結果について】

小学校の国語は，国語 A はやや全国平均正答率を上回っていたが，国語 B はわずかに全国平均を下回った。算数は AB とともにやや全国平均正答率を上回る結果であった。

小学校の今年度（平成22年度）の平均正答率（難易度）を4年間で比較すると，国語（国語 AB）では，最も高い（易しい）結果であった。算数は A 問題が，平成20年度に次いで2番目に低く（難しく），算数 B は最も低い（難しい）結果となった。

今年度の市と全国平均正答率との差は，国語 B が4年間で最も大きく，国語 A，算数 AB は，昨年度に次いで差が少ない結果となった。今年度の小学校の学力調査の結果は総合的に，国語 B 以外はやや全国平均を上回る結果であったと見ることができる。

【中学校の全国学力調査全体結果について】

中学校は昨年度同様，国語 B，数学 A・B で全国平均正答率を大きく上回り，国語 A でやや上回っていた。

中学校の今年度（平成22年度）の平均正答率（難易度）を4年間で比較すると，国語は AB とともに2番目に低い（難しい）結果であった。数学 A が3番目に低く（難しく），数学 B は最も低い（難しい）結果であった。

今年度の市と全国平均正答率との差を4年間で比較すると，国語 A・数学 A が3番目，国語 B・数学 B が2番目に上回っていた。中学校は，A問題よりもB問題の方が全国平均を上回っていること，国語よりも数学の方が全国平均を上回っていることにおいて，毎年同じ傾向が見られる。

②領域別比較

全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較 【H22 領域別比較】

- ◎大きく上回っている（5ポイント以上） ○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
- 同じ（±1ポイント未満）
- ▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満） ▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校国語	国語 A	国語 B	小学校算数	算数 A	算数 B
話すこと・聞くこと	○	○	数と計算	○	○
書くこと	○	—	量と測定	○	○
読むこと	○	▽	図形	○	○
言語事項	—	▼	数量関係	○	○

中学校国語	国語 A	国語 B	中学校数学	数学 A	数学 B
話すこと・聞くこと	◎	◎	数と式	◎	◎
書くこと	○	◎	図形	◎	◎
読むこと	◎	◎	数量関係	◎	◎
言語事項	○				

【小学校の全国学力調査結果について】

国語では、A問題は全国の平均正答率をどの領域も上回っていた。B問題は、4領域の内「言語事項」が6.5ポイント下回っており、課題となった。

算数では、A・B問題ともに、4領域すべてにおいて、1～4ポイント全国の平均正答率を上回っていた。

【中学校の全国学力調査結果について】

国語のA・B問題、数学のA・B問題ともに、全国の平均正答率をどの領域も上回っていた。

国語はA・B問題合わせて7領域中5領域で、数学はA・B問題すべての領域で、5ポイント以上全国の平均正答率を上回っていた。

以上のことから、国語と算数・数学を比較すると、今年度は小学校中学校ともに、算数・数学の方が達成度が高かったことがわかった。

今年度は特に小学校において、「言語事項」領域での基礎基本の定着、応用・活用する力を両方育成することが課題として挙げられる。

③国語、算数・数学の課題（概要）

国 語

小・中学校どちらも、国語A（知識）はともに全国を上回っている。中学校では、例年国語A（知識）よりも国語B（活用）の方が、全国平均を上回っている。

「読書は好き」と答えた小学生の割合がともに全国より5～10%程度高いことが、今年度も本市の特徴の一つとして挙げられる。無回答率については、今年度もほとんどの問題について、全国平均無回答率を下回っていた。

今年度は、初めて小学校国語B（活用）で全国平均を下回り、課題となった。

【小学校】

《書く能力》

国語Bの学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く問題では、全国平均を下回る問題があった。目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることが課題である。

《読む》

国語Bの物語を読んで、指示された部分についてのあらすじを書いたり、思ったことや考えたことと、その理由を書く問題は、全国平均を6～8ポイント下回っていた。あらすじをまとめたり、自分の感想を理由を明確にして書いたりすることに課題が見られた。

《言語事項》

国語Aの「漢字を正しく書く」という出題において、3問中2問が、全国平均正答率よりも1～5%程度低く、漢字の書きに課題がある。また、国語辞典を利用して、複数の言葉の意味の中から適切なものを選択することも、やや課題がある。

国語Bでは、「読む」問題と同様に、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書くことに課題がある。

【中学校】

中学校では、全設問において全国平均正答率を上回っていたが、特に正答率が低かった内容は、以下のとおりである。

《書く能力》

国語Aでは、一文を二文に分けて書く問題が4割程度の正答率であった。全国平均は上回っているが、全国同様、課題としてあげられる。国語Bでは、資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く問題が5割程度の正答率であ

った。資料の提示の仕方を工夫し、その方法について具体的に説明することに課題がある。

《読む能力》

国語Bでは、本文中の表現がたとえている内容をとらえて書く問題の正答率が4割程度で、国語A Bを通して最も低い正答率であった。表現の仕方に注意して読み、内容について理解することに課題がある。

《言語事項》

国語Aでは、行書の特徴の説明として適切なものを選択する問題が4割程度の正答率であった。漢字の楷書と行書との違いを理解することに課題がある。

算数・数学

小学校は、算数A（知識）・算数B（活用）で数ポイント、数学A（知識）・数学B（活用）では5ポイント以上、全国を上回っていた。しかし、以下の点が課題として見られた。

【小学校】

《数と計算》

算数Aでは、小数の減法の計算が、やや全国平均正答率を下回っていた。商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、除法が用いられることへの理解にやや課題が見られた。

《量と測定》

算数Bでは、平行四辺形に対してなされた説明を解釈し、それを台形に適用して説明を記述する問題が、3割程度の正答率であった。

《図形》

算数Aでは、立方体を展開図から構成する問題が、ほぼ全国平均正答率と同じであった。立方体を念頭操作で組み立てることに課題があることが分かった。

算数Bでは、示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その判断の理由を記述する問題の正答率が1割程度で、最も正答率が低かった。式と言葉を使って根拠を明らかにして説明することに課題が見られた。

《数量関係》

算数Aでは、割合の意味の理解の問題が、ほぼ全国平均正答率と同じであり、割合を求め、様々な表現を用いて表すことが課題となった。

算数Bでも、割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなる時の基準量を判断し、その理由を記述する問題が、わずかに全国平均正答率を下回っており、正答率も1割程度であった。

児童にとって割合の問題は難しい課題であると考えられる。

【中学校】

中学校では、今年も全設問において全国平均正答率を上回っていたが、特に正答率が低かった内容は、以下のとおりである。

《数と式》

数学Bでは、数量の関係を連立二元一次方程式で表し、これを解く問題や連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを説明するが3～4割程度の正答率であった。必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現して処理することや、筋道立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することに課題があった。

《図形》

数学Aでは、証明された事柄に新たな条件を付け加えた事柄について、正しい記述を選ぶ問題が5割程度の正答率であった。

数学Bでは、平行四辺形になることを証明するための根拠となる事柄を書く問題の正答率が1割程度と最も低かった。事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することは大変難しい課題であると考えられる。

《数量関係》

数学Aでは、 $y = -2x$ 上の点を選ぶ問題や、16cmの長さのひもで作る長方形の縦の長さとの横の長さの関係を式で表す問題の正答率が、3～4割程度であった。

比例のグラフ上にある点のx座標とy座標の値の組が、その式を満たしていることへの理解や、具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことが課題である。

数学Aでは、T シャツ 35 枚のプリント料金が最も安い店をグラフから判断する方法を説明する問題が、3割程度の正答率であった。表やグラフから必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈することは、課題であると考えられる。

④ 同一集団の変容について

平成19年度（小学6年）と平成22年度（中学3年）の同一集団の変容を全体比較で見ると、国語Aより国語B，算数・数学Aより算数・数学Bの方が上回っている点において、同じ傾向が見られた。また、算数・数学での顕著な伸びが見られた。

(2) 学習状況調査の結果より

学習状況調査		下野市
調査対象	小学校 12校	657人
人数内訳	中学校 4校	561人

質問数	小学校，中学校ともに77問
回答方法	4つから選択 1 している（当てはまる） 2 どちらかといえばしている（当てはまる） 3 あまりしていない（どちらかといえば，当てはまらない） 4 全くしていない（当てはまらない）
質問内容	小学校，中学校ともに同じ内容 ○基本的な生活習慣 ○目標，達成感，長所 ○学習・テレビ・ゲーム時間 ○家庭でのコミュニケーション ○関心・意欲・態度 ○規範意識・道徳性 ○教科・学習の取り組み ○解答時間 等

今年度の学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果は、小中学校ともに77項目中32項目で全国・県平均を上回っていた。（昨年度は77項目中36項目）特に「基本的な生活習慣」，「家庭での予習・復習」，「規範意識」等については，昨年度同様よい結果が認められた。

①学力と学習状況の相関

市の学習状況調査の結果から、小学校中学校ともに学力調査結果との相関関係（学習状況調査で望ましい回答をしている子ほど、学力調査の平均正答率が高い）が見られた項目は、次のとおりであった。 ※太字は昨年度も相関が見られた項目

〈家庭での学習態度に関するもの〉
（ 2 ） 持ち物の確認 （ 5 ） 達成感 （ 16 ） 平日の家庭学習時間
（ 17 ） 土日の家庭学習時間 （ 26 ） 学校の宿題 （ 27 ） 予習
〈家庭での生活に関するもの〉
（ 22 ） 学校の出来事の話
〈授業に関するもの〉
（ 47 ） 発表の機会
〈規範意識に関するもの〉
（ 36 ） 学校のきまり
〈国語に関するもの〉
（ 53 ） 国語の重要性 （ 55 ） 読書が好き （ 57 ） 授業で読む，話す，聞く
（ 58 ） 発表時に話の組み立てを工夫 （ 59 ） 理由をつけて自分の考えを書くこと
（ 60 ） 段落・まとめごとに理解して文章を読むこと （ 62 ） 文章解答の努力
〈算数・数学に関するもの〉

(63) 算数が好き (64) 算数・数学の重要性 (65) 算数・数学の理解
 (67) 多様な解決方法 (70) 簡単な解決方法
 (71) 公式・きまりの根拠の理解 (72) 解法・考え方のノートへの記録
 (73) 説明解答の努力

②良好な面

学習状況調査の下野市の結果を全国(県)、県と比べて、小学校中学校ともに上回っていた質問内容は、次のとおりであった。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	98.2	96.4	95.0	93.3
(2)	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	90.1	87.1	89.3	84.5
(3)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.7	75.5	75.6	71.0
(4)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.2	90.3	92.7	91.2
(5)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	95.7	94.1	94.9	92.7
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	79.5	74.4	74.7	63.1
(10)	普段(月～金)、何時ごろに寝ますか ※小学校午後10時前、中学校午後11時前	49.3	43.8	34.5	32.4
(13)	普段(月～金)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか ※2時間以上	17.5	23.0	18.3	21.6
(14)	普段(月～金)、1日あたりどれくらいの時間、インターネットをしますか ※2時間以上	6.2	7.5	15.3	18.1
(15)	携帯電話で通話やメールをしていますか	13.0	23.1	42.1	52.8
(20)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか※月に1～3回程度以上	26.4	25.7	44.2	35.7
(22)	家の人と学校での出来事について話をしていますか	75.2	72.2	68.1	63.7
(25)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.1	58.3	45.7	41.8
(26)	家で学校の宿題をしていますか	96.5	96.0	89.7	84.6
(27)	家で学校の授業の予習をしていますか	44.3	40.4	41.6	30.9
(28)	家で学校の授業の復習をしていますか	58.3	49.6	57.8	43.5
(33)	新聞やテレビのニュースなどに興味がありますか	72.8	66.9	70.4	64.2
(36)	学校のきまり(規則)を守っていますか	94.7	89.2	93.2	96.6
(37)	友達との約束を守っていますか	97.1	96.7	98.4	96.1
(39)	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	92.6	89.9	86.6	83.9
(40)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	93.7	92.0	95.5	92.7
(41)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.3	95.0	93.6	91.1
(46)	普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	68.2	54.1	37.6	25.3
(47)	普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	82.7	81.5	78.3	73.3
(50)	400字づめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか	71.8	68.1	66.0	73.2
(55)	読書は好きですか	78.4	73.0	78.2	68.8
(59)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	74.1	69.2	68.4	57.7
(62)	解答を文章で書く問題について、どのように解答しましたか ※最後まで解答を書こうと努力した	74.7	72.6	79.3	65.2

(68)	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	70.6	64.6	42.0	37.2
(71)	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ・根拠を理解するようにしていますか	82.5	79.7	81.8	68.1
(72)	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84.4	80.8	84.5	78.2
(73)	言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように解答しましたか ※最後まで解答を書こうと努力した	63.2	62.0	62.0	45.5

数字は、選択肢1「している」2「どちらかといえば、している」の合計
 または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計
 太字の質問番号は、昨年度も上回っていた質問

③課題とされる面

学習状況調査の下野市の結果を全国及び県と比べて、小学校中学校ともに下回っていた(ほぼ同じ)質問内容は、4つであった。(昨年度は2つ)

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国 県	市	全国 県
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	87.4	86.8 87.6	73.2	71.7 75.9
(11)	普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか ※6時間より少ない	1.5	1.6 1.4	9.8	8.9 9.4
(31)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	95.6	96.5 96.9	95.0	95.0 95.7
(52)	国語の勉強は好きですか	64.1	62.1 64.9	56.5	57.2 60.2
(77)	解答時間は十分でしたか(算数・数学B) ※時間が余った、ちょうどよかった	57.4	61.8 62.3	67.0	73.3 67.6

数字は、選択肢1「している」2「どちらかといえば、している」の合計
 または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計

昨年度課題となっていた内容は2つあった。
 「平日の睡眠時間」は、昨年度同様、今年度も課題となった。
 「授業では、ノートを丁寧に書いていますか」の質問は、小学校で改善が見られた。
 「将来の夢や目標」については、昨年度は小学校中学校ともに上回ったが、平成20年度と22年度は下回っていた。

